

○ 概要

- ・ 例年当事務所が実施している実地研修の一環として、今年度新任の3名がジャパンスタディツアーの参加団体のひとつであるケンブリッジ市を訪問した。
- ・ ケンブリッジ市は二層制のシティカウンシルである。カウンティカウンシルはケンブリッジシャーであり、ケンブリッジ市はその中心都市である。また、ノーベル賞受賞者89名を輩出した世界トップの大学であるケンブリッジ大学を有している。
- ・ 市職員数は約1,000。CEO以下3名の局長がおり、その下に部がある。別添組織図参照。
- ・ 人口12万人のうち2万人が学生であり、中国からの留学生をはじめ、多くの留学生が生活している。

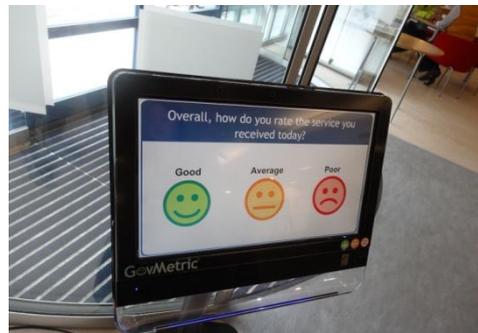
○ 6月24日(月)

● 市民センター(市役所の窓口)の紹介(10:00-10:40)

- ・ 市民センターはメインストリートに面した利便性の良い場所にある。
- ・ 市民サービス(市営住宅など)に関する情報の閲覧や各種申請ができるコンピュータ4台、市民が自由に使えるコンピュータ2台が常設されている。
- ・ 支払い窓口では、カウンシルタックスやビジネスレートなど毎月約£1万の取扱いがある。市民センター内に自動振込機もあり市民センター以外の場所にも設置されている。
- ・ 市民センター出口には、市民サービス向上のため市民センターのサービスに対する感想を調査するための端末が設置されている。



市民センター内部の様子



市役所サービスに対する
市民の満足度調査のための端末

● ケンブリッジ県の成長戦略の概要説明(ケンブリッジカウンティカウンシルにて)(11:00-12:00)

- ・ ケンブリッジ県ではハイテク産業が多く進出しており1,500企業に54,000人が雇用されている。
- ・ 1970年代からハイテク企業が集積し始め(ケンブリッジ現象と呼ばれている)、現在、バイオ、IT、ナノテクノロジーなどの分野で世界をリード



ケンブリッジシャーカウンティカウンシルでの
レクチャーの様子

している。

- Science and Innovation Parks には、東芝やソニー関連会社、武田薬品などの日系企業を含め多くの企業が投資している。ロンドンに次いで投資の多い都市である。
- 企業の増加に伴う労働者の転入により住宅不足が深刻化している。企業誘致のためには住宅供給が不可欠である。

● **嘉悦学園教育文化センター（12：15 -12：45）**

- 学校法人嘉悦学園は、ケンブリッジ大学 Murray Edwards College から土地を 60 年契約で借り受け、自ら建物を建設し、教育文化センター及び宿泊施設を運営している。
- ケンブリッジ大学には女子カレッジが 3 つあり、嘉悦学園がある Murray Edwards College はそのうちのひとつである。
- 毎年 3 月に Japan Day を開催し、500 名程度の参加がある。（2003 年 12 月にイラクで殺害された奥参事官が英国大使館赴任中に呼びかけたことにより始まった。）

● **市民サービス部門の概要説明（14：15-16：00）**

- 市民サービス部門は市民からの問い合わせの窓口であり、問い合わせ内容は、市営住宅（入居、修理など）に関すること、カウンスルトックスに関することから、近所の騒音や犬などの苦情など多岐に渡る。
- ケンブリッジ市には現在 48,000 世帯あり、電話での一般的な問い合わせが月あたり 12,000 件、電話での市民サービスに関する問い合わせが月あたり 16,000 件、E メールでの問い合わせが月あたり 2,000 件、来所者が月あたり 3,500 件ある。
- 問い合わせは増える一方であるが、市役所職員は削減されており、より効率的な業務が求められている。
- 問い合わせなど市民サービスに係るコスト削減のため、セルフサービスを推進していきたい。セルフサービスとは、ウェブサイトにはわかりやすく情報を載せ、市民自ら回答を探せる仕組みである。（来所者や電話での対応は人件費がかかる）
- 市は 7,200 戸の市営住宅を持っており、家賃は入居者の所得や家族構成により計算される。
- 住宅の修理に関する問い合わせは季節により変動するが、特に雨の多いときは水漏れなどの問い合わせが殺到する。
- 市営住宅は 7 年ごとに屋根、浴室、キッチンなどの基本設備を定期点検している。
- ケンブリッジ市は人口増加が見込まれており、市民増加に伴う支援体制の確保が課題である。

○ **6月25日（火）**

● **シティカウンスルの運営と予算について（9：30-10：15）**

- ケンブリッジ県は、カウンスル、5つのディストリクトカウンスル、1つのユニタリー（ピーターバラ）で構成されている。
- ケンブリッジ市は 14 区で構成されており、各区から 3 名の市議会議員と 1 名の県議会議員（ともに任期 4 年）が選出される。

- 毎年選挙があり4年のローテーションとなっている。つまり、市議会議員1名ずつを選出する選挙が3年あり、4年目は県議会議員選がある。
- 市議会は42名(14区から3名ずつ)であり、内訳は自民党21名、労働党19名(約15年間与党となっていない)、保守党1名、無所属1名であり、各党の勢力が均衡しているため、難しい議会運営を強いられている。
- 市議会は、常設委員会、4つの委員会(コミュニティサービス、住宅、雇用、成長戦略)、4つの地区毎の委員会(14区を4つにまとめる)、必要に応じて設置する臨時の委員会などの委員会がある。
- カウンシルタックスの配分は、カウンティカウンシル72.9%、シティカウンシル11.3%、消防や警察に15.8%となっており、2012年の場合、総収入£52.5M、内シティカウンシルは£5.4Mとなっている。
- 自主財源確保として、市内の駐車場運営(£8M/年)や市役所の部屋の時間貸等を実施している。このため、中央政府からの交付金削減による影響は他の自治体ほど大きくない。



ケンブリッジシティカウンシル議会

● コミュニティ開発について (10:30-11:00)

- ボートの乗り方、木のぼりなどの子どもたちへのサービスを実施している。
- 予算£1.2Mは、NPOやコミュニティ等約2,000の団体に助成金として支援している。
- 今後、市南部などの開発が終われば約20,000人の人口増加が見込まれており、生活環境やコミュニティを十分に整える必要がある。
- 今の住民と新しい住民の良好な関係を築くことも大きな課題である。

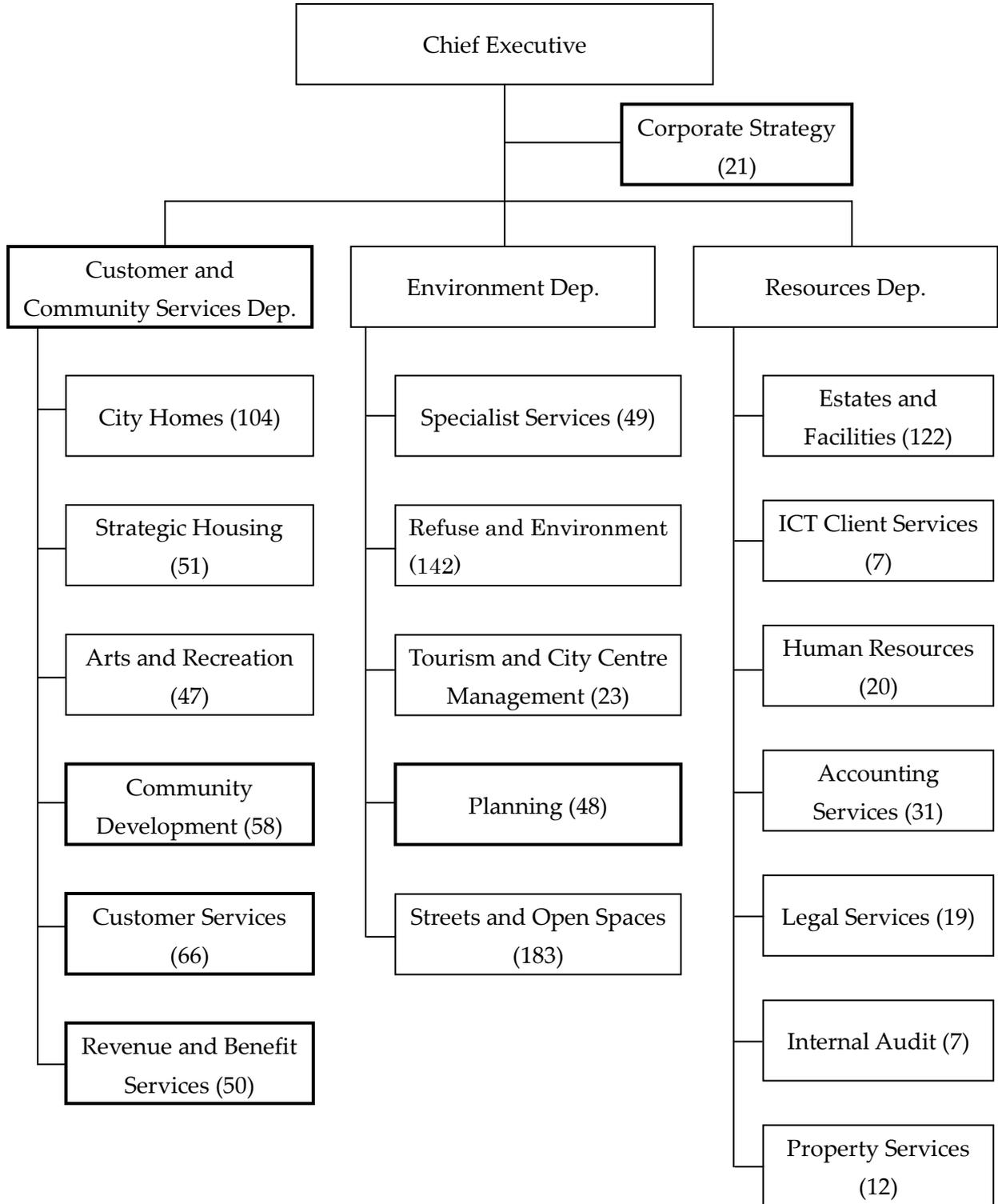
● 歳入と市の役割について (11:00-12:00)

- ビジネスレート及びカウンシルタックスの徴収率はそれぞれ99.2%、97.6%と非常に高い。(学生が多いため、カウンシルタックスの徴収率が若干低い。)
- 市には、約4,000の企業があり、今年のビジネスレートは£92.4Mであり、ここ5年間で約20%上昇している。
- ビジネスレートは全て中央政府の歳入となり市には残らない。しかし、今年4月から「Business Rate Retention」制度が始まり、経済成長に合わせてビジネスレートの一部を市の歳入とすることができるようになった。これは、地方自治体にとって地域の経済成長支援に対するインセンティブとなる。
- カウンシルタックス対象世帯は51,000世帯で、ここ5年間で約5%上昇している。
- カウンシルタックスの収入は£52.5Mであり、ここ5年間で約14%上昇している。今後10年間は継続して増加していくと予想されている。
- 県は、カウンシルタックスによる収入を、青少年育成、社会保障、教育、医療、道路の維持

管理、図書館の管理に利用している。

- ・ 市は、レジャーや観光、市営住宅、市民サービス、各種申請業務などを実施している。
 - ・ 今後の課題として、市中心部の高額な家賃への対応、市内の渋滞、短期労働者問題などがある。
-
- **市南部の病院、研究所集積地や新興住宅地など視察（14：00-17：00）**
 - ・ 市中心部の家賃が高いため郊外からの通勤者が多い。
 - ・ しかし、市内の駐車場が1日あたり£25程度と高額であることから、県が郊外5ヶ所に計約6,000台分の無料の駐車場を整備している。各駐車場と市内は民間のバスで結ばれている。
 - ・ 現在、新しい病院やパークアンドライドの駐車場が建設中である。

Cambridge City Council Organization Structure 2013



Remarks; () number of staff, including part time workers